

5) 解体施工

a. 施工方法

- (1) 本解体工事は「手こわし」
- (2) 周囲に足場・養生シ-
- (3) 建具・畳、瓦の撤去は
にアタッチメント(つかみ機)
- (4) 基礎コンクリートの削
着して行う。
- (5) 解体工事前の事前調査、
者教育等については、
- (6) 解体業者が、元請業者
いても同様、事前・準

は車両系建設機械(ベースマシン)
体とする。

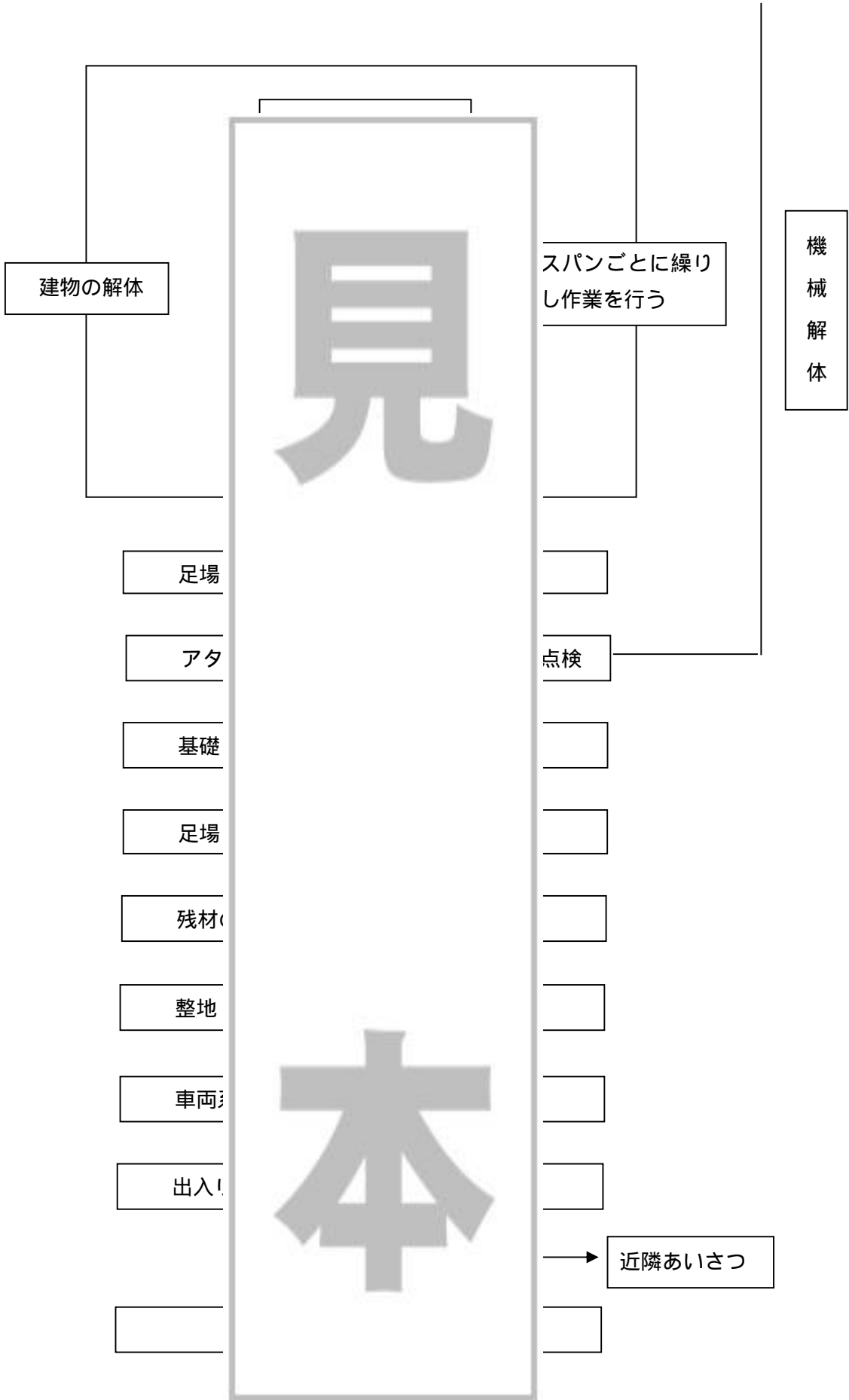
にアタッチメント(バケット)を装

の作業計画打ち合わせ、新規入場
とする。

解体工事説明会、近隣家屋調査等につ
、

b. 木造解体の作業フロー





c . 安全確認事項

(1) 有資格者等の確認

作業主任者、作業
有資格者等を配置
・足場の組立て等
・車両系建設機械
・移動式クレーン
・玉掛け作業者
・ガス溶接技能講
作業指揮者を必要
・墜落防止作業
・車両系建設機械
・木造建築物解体

させる。

及び掘削用) 運転関係

(2) 機械、工具の点検

持ち込み機械等使
点検表に基づいて
・ブレーカ
・つかみ機
・ベースマシン
作業開始前点検
・クラッチ
・ブレーキ
・油圧装置
・作動装置
・警報装置

る。

(3) 運行経路の確認、イ

運搬車の通路、重
軟弱地盤等では敷
・敷き鉄板作業に
して禁止する。

地盤の確認をする。

車両系建設機械の用途外使用は原則と

(4) 作業場所周辺状況の

事前調査に基づき
電気、ガス、水道
・電力会社への連
・絶縁用防護管等を取付けるか架空電線を移設する。
・送電線に触れなくても感電するので、離隔距離を確認する。
・ガス管については管内の残留ガスを抜いて切断する。



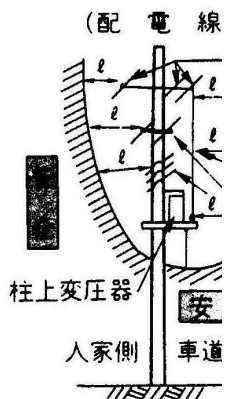
不明な埋設管等の有無の確認をする。

- ・埋設管等の表示をする。

第三者の支障にならないようにする

- ・ガードマン等を

離隔距離



電圧に関する

電路
配電線
送電線

距離 (m)
社の目標値)
2.0 以上
2.0 "
3.0 "
4.0 "
5.0 "
7.0 "
11.0 "

(5) 立入禁止措置の確認
カラーコーン、安

立入禁止の標識を設置する。

見

本

d . 仮設作業

(1) 障害物の撤去・防護

車両系建設機械の
解体した材料の集
積、樹木、門扉、プロ
倒壊の危険がある

場合は防護する。

(2) 足場・養生シートの

- ・足場組立て解体作
- ・関係者以外立入禁
- ・安全ネットを張る
- ・親綱を張り、安全
- ・高さは、解体家屋
- ・強風時に倒壊しな
- ・強風が予想される

指揮で作業を行う。

より高くする)

(3) 散水設備等の設置

十分な水量の確保
解体作業時には、

する。

e . 内部解体作業

(1) 蛍光灯等の撤去 ()

- ・蛍光灯、安定器の
- ・蛍光灯は水銀を含
うに注意する。
- ・不安定な姿勢にな

る場合があるので、破損させないよ

る。

(2) 建具・畳・設備類の

厨房・冷暖房機器
クーラー等は、家
ガス管はガス溶断
・管内の残留ガス
ガラス付き建具の
建具・畳などは、
搬出通路の幅、高
投下設備を設ける

線を撤去する。

させないように注意する。

(3) 内装材等の取り外し

石膏ボードの確認・撤去 (分別解体)

- ・有害物を含有している内装材については確認し、写真を撮る。

- ・石膏ボードは手で壊し、専用コンテナに集める。
 - ・小さくなったものは袋等に入れて運ぶ。
 - ・飛散防止のため
 - ・必要に応じて散
- アスベスト含有物が
んばく露防止対策の

断熱材グラスウー

f. 建物解体

(1) 車両系建設機械の掛

- ・ 通行人の多い場合
- ・ 誘導者を配置し、
- ・ 作業指揮者の直接
- ・ 車両系建設機械の
- ・ 適切に使用する。
- ・ 車両系建設機械の
- ・ 登坂用具（道板）
- ・ 移送車両は駐車ブ
- ・ 登坂用具が外れな
- ・ 修理、アタッチメン
- ・ させる。

(2) アタッチメント（こ

- ・ 通常は必要なアタ
- ・ 作業指揮者の直接
- ・ 車両系建設機械の
- ・ アタッチメントの
- ・ つかみ機の歯止め

(3) 屋根葺き材（瓦）の

- ・ 屋根への昇降設備
- ・ 屋根頂上部に親綱
- ・ 屋根葺き材の取り
- ・ 屋根葺き材の投下箇
- ・ 3m以上の高さか
- ・ 天窓（トップライ
- ・ 瓦の手渡しは2～
- ・ スレートは、破損しないように撤去する。

材料の施工作業における石綿粉じ

見

入禁止措置をする。

引い、専用の登坂用具（道板）等を行

者を事前に指名し、作業を直接指揮

入する。

換は、平坦な場所で行う。

本

を張るなど、立入禁止措置をする。
を通して搬出車両にすべり落とす。

(4) 本体の解体

解体工の配置、誘
重機の作業半径内
解体は妻部からは
紛じんの発生する
解体の途中では、
外壁解体時には養
内部主要構造部材

ンごとに順次取り壊していく。

し、一個の状態で放置しない。

を事前確認する。

(5) 集積保管

- ・石膏ボード、断熱
- ・機械による仕分け
- ・手作業解体工具を
廃棄物の種類によ

する。

場所を隔てて行う。

(6) 積込・搬出

- ・解体廃材の積込み
- ・100kg以上の荷を
- ・過積載しない。
- ・積み荷のシート掛
- ・道路での積込作業

飛散防止の養生を行う。

による。

過積載とは、積載重

- ・長さ：自動車の長
- ・幅：自動車の幅
- ・高さ：地面からの高さ3.8m

限を超えたものをいう。

えたもの

(7) 足場・養生シートの盛替え

- ・ 足場の壁つなぎ・仮囲いの控えは、あらかじめ解体する建物から独立させる。
- ・ 建物が2階建の場合、足場の壁つなぎ・仮囲いの控えは盛り替える。
- ・ 強風が予想される
- ・ 強風時には作業を

(8) アタッチメント（ノ

- ・ 作業指揮者の直接
- ・ 車両系建設機械の
- ・ オペレーターと作
- ・ アタッチメントの
- ・ バケットの歯止め

換は、平坦な場所で行う。

g . 基礎コンクリートの解

- ・ 基礎解体に先立ち、
- ・ 車両系建設機械の作
- ・ 誘導者を配置し、合
- ・ 作業指揮者の直接指
- ・ 発生廃棄物は、分別
- ・ 最後に残る混合廃棄
- ・ 事前調査等において、
- ・ の確認、処理を行う
- ・ 地中に残されたガス
- ・ ガス、水道管の破損

認する。

に積込む。

易合には、直ちに作業を中止し、そ

示しておく。

る（掲示等）

h . 最終作業

(1) 足場・養生シートの

- ・ 足場の組立て等作
- ・ 安全帯を使用す
- ・ 有資格者を選任
- ・ 関係者以外の立入
- ・ 高所からの荷卸
- ・ 養生敷き鉄板を撤
- ・ 車両系建設機械
- ・ 玉掛け用具を点

(2) 残材の整理

- ・ 解体後の片付け、
- ・ 搬入口の養生敷き鉄板を撤去する。
- ・ 発生した残材、不要材を指定の場所に集積し、搬出する。

(3) 整地

解体材の積み残しがないことを確認する。

重機の位置を考えた場合、整地中に、

- ・後進合図を徹底
- ・事前調査等において確認し処理する

た場合には、直ちに作業を中止し、

(4) 車両系建設機械の利

通行人の多い場合

- ・第三者の立入禁誘導者を配置し、作業指揮者の直接
- 車両系建設機械の切に使用する。

- ・登坂用具（道板
- ・登坂用具（道板
- ・登坂用具が外れ
- ・移送車両は駐車
- ・荷の積み込み後、
- 車両系建設機械の
- ・作業手順、合図

ハ、専用の登坂用具（道板）等を使用する。

車両に固定する。
行う。

(5) 出入口の立入禁止柵

- ・第三者が立ち入る
- ・安全柵等で立入禁

する。

i . 後片付け

(1) 現場の整理整頓

現場内及び周辺（
水道蛇口の緊結（

- ・清掃を行う。

(2) 近隣への挨拶と作業

元請業者及び自社
自社が元請の場合

見

本